




都市再生プロジェクト推進調査費調査概要

| | |
|------------------------|---|
| 1 応募団体名 | 青森市 都市整備部 港湾空港河川課 電話 017 - 761 - 4154 |
| 2 調査名 | 交流遺産による都市再生調査 ～ 青函連絡船メモリアルシップ八甲田丸を活かした賑わい再生に向けて～ |
| 3 推薦団体名 | - |
| 4 調査の対象地域 | |
| (1)対象となる行政区 域名、地区名等 | 青森県 青森市 |
| (2)対象となる及び地 区の特徴 | 青森市 人口 31.5 千人 対象地区 / 青森市の中心市街地の中核となる現青森駅周辺で、かつて青函連絡船が発着していたウォーターフロント地区 |
| 5 提案した活動の内容 | |
| (1)テーマ、課題 | <p>青森市は、明治から北海道と本州の間をつなぐ青函連絡船が就航し、駅と港が一体となった中心市街地を形成しており、連絡船廃止後、この港湾空間を観光客や市民の憩い場として再開発してきているが、様々の環境変化等を背景に、市民意識が薄れ、各種施設利用が低迷している状況にある。</p> <p>東北新幹線新青森駅開業(2010年)を目前に、新幹線新青森駅から4kmから離れることとなる現青森駅周辺(ウォーターフロント地区含む)を活性化し、将来の新幹線効果を最大限に享受するため、本市の歴史を語る青函連絡船メモリアルシップ「八甲田丸」及びその周辺のウォーターフロント地区を「交流遺産」と定義し、市民と一緒に既存ストックを有効に活用した賑わい再生の在り方を検討した。</p> |



| | | |
|------------------------|---|--|
| <p>(2)本調査費による活動の概要</p> | <p>1 検討委員会</p> <p>学識者、TMO、青年会議所、中心市街地関係者、民間企業、団体等19名からなる「交流遺産による都市再生調査検討委員会」を設立し、公開しながら検討会を実施(平成16年11月～平成17年2月/3回)</p> <p>2 「あおり街なか再生ニュース」の発行</p> <p>地区の歴史的な経緯や施設の現状、調査の概要等を市民に情報発信するため、「あおり街なか再生ニュース」を発行し、青森市全戸(約12万世帯)に配布。</p> <p>3 市民アンケートの実施</p> <p>上記「あおり街なか再生ニュース」に、受取人払の自由記述式アンケートを刷り込みし、街と港の資産を活かしたまちづくりについての意見・提案募集を行った。(回収数 約900票)</p> <p>4 来訪者ニーズ調査の実施</p> <p>インターネットにアンケートHPを開設し、青森市への訪問度に応じたアンケート調査を実施した。(回収数 約1,100票)</p> |  <p>八甲田丸船内で開催された検討委員会</p>  <p>全戸に配布したまちなか再生ニュース</p> |
| <p>6 本調査と関連する活動実績</p> | <p>『青函連絡船ゆかりの資料実態調査～青函連絡船の「あなたのお宝情報」教えてください～』を実施。(期間:平成16年12月1日～28日、結果:857点の資料情報が市民から寄せられた)</p> |  <p>交流遺産(八甲田丸及び周辺地区)</p> |

7 本調査の成果等、本調査の実施過程で顕在化した課題など

賑わい再生に向けた整備構想の検討
アンケート結果等をもとに、ウォーターフロントの新しい賑わい再生に向けた基本理念を、地域にねづき、地域の文化にふれられる、市民と訪問客の交流空間づくりとし、5つの基本方針を検討。



- 『みなと回遊街の創出』
- 『市民参加と市民利用によるみなと交流空間づくり』
- 『街の歴史を伝え続ける歴史伝承機能の強化』
- 『市民の心象景観の保全・創出』
- 『海を生かした交通機能の活性化』

本調査後の地区を巡る街づくりの動き

東北新幹線新青森駅開業を見据えた取り組みが加速

商工・観光などの分野で新幹線開業を見据えた取り組みが進む中、本調査などを踏まえ、中心市街地再活性化の中核的なプロジェクトとして、港まちとしての魅力を活かす「(仮称)ふるさとミュージアム」の具体化に着手。「ねぶた」を核とした文化観光交流施設の検討などを行う委員会を新たに組織

関係者間の動きの活発化

三セクの破綻等によりウォーターフロント関係者間の意識低下が懸念されていたが、新幹線開業を見据え、各主体が取り組みを活発化

市民の機運の高まり

7月には、本調査を契機に関係団体が主催し、昭和の港の賑わいを再現し、歴史を伝えながら市民利用による港の活性化を実践するため、「八甲田丸港フェスタ」開催。

また、青森港及び青森市の歴史と文化を伝え、地域振興等に資することを目的とするNPO 法人が設立予定。平成18年から八甲田丸を指定管理者制度に移行予定

